



市議会議員 上田由美子 68-2106 Fax 68-2146



参議院議員 井上さとし



前衆院議員 藤野保史

### 今年こそ、平和に向けて前進を

市議会議員 上田由美子



新年にあたり、今年こそ世界が平和に向けて前進するよう、多くのみなさんと手をたずさえて訴えていきます。昨年2月24日、ロシアがウクライナを侵略して戦争がはじまり、その結果世界的な食糧や燃料の高騰が起き、市民の生活が脅かされています。コロナ禍は続き、まだ落ち着く状況は見通せません。

そのような中で、岸田政権は、敵基地攻撃能力(反撃能力)保有を盛り込んだ「安保3文書」を閣議決定しました。これまで基本原則としてきた「専守防衛」を投げ捨て、軍備拡大に向かうことは戦争する国家づくりにはほかなりません。

今後5年間で軍事費を1.5倍化するために、増税と社会保障費削減で国民の暮らしはますます圧迫されます。小矢部市でも、市民の教育や福祉、暮らしを守るための様々な施策の実行が妨げられかねません。政府の大軍拡を止めさせる以外ありません。平和を築くために力を合わせましょう。そして、学校給食に安全な有機農産物を使うことを進め、全国で広がっている学校給食無償化を小矢部市で実現させましょう。



### 上田由美子市議の一般質問②

#### 学校給食の無償化

【上田市議】 日本国憲法第26条は、「義務教育は、これを無償とする」としています。学校給食は、食事のあり方、栄養の知識、地域の食文化などを伝える教育の環境、「食育」であり、本来無料とするべきです。全国で小・中学校ともに無償とする自治体は、1747自治体中256自治体、富山県では朝日町と上市町で無料となりました。小矢部市も無償化に一步踏み出す時です。

【教育長】 令和4年度は最近の物価高騰の影響もあり9月補正で937万3千円を追加し1億2500万円程度となる。無償化には同額が必要となる。また第3子を無償化するには、就学援助を受けていない児童生徒数は約230人、一人あたり平均年5万8500円であり、全体では1352万円が必要となる。給食費の無料については受益者負担という観点から、また子どもがいない家庭、アレルギーにより給食を食べていない家庭に対して不公平を生じることからも、第2子第3子も含め給食費の無料化は現段階では実施は難しいと考えている。



市全体という方針でいると思うので、市民の皆さんには理解してもらえないのではないか。ぜひできることから始めるのが良いと思います。

#### 有機農産物を学校給食に

【上田市議】 いま地産地消を進め、有機栽培の農産物を使った安全・安心な給食を望む声が高まっています。学校給食の食材で、小矢部市で生産されたものは全体の何%ですか。また、有機栽培の農産物はどれだけ使われていますか。

【教育長】 令和3年度における食材の活用実績は、野菜、果物、穀物の総重量4万8154kg、この内小矢部市産が1万2千kgで、24.9%である。米はすべて市産のメルヘン米や富山産である。キノコは生椎茸100%小矢部市産である。有機栽培農産物は、学校給食に使用するには一定量の確保が必要であり、購入単価も高額でないことが条件となるために、市内の作付け状況では使用することは困難であり、現在は使用していない。

【上田市議】 12月11日に市民交流プラザで開かれた映画会「食の安全を守る人々」には多くの入場者がありました。アンケートには、有機栽培を広げ学校給食に使って欲しい、給食費を無償にして欲しいという声が多くあったときいています。そのよ

#### 子ども医療費

#### 石川県でも窓口無料化を

【上田市議】 子ども医療費について、今年(22年)4月から富山県内のどの病院でも窓口で自己負担分を立替払いする必要がなくなり、子育て中の人に喜ばれています。しかし、石川県の病院を受診した場合には、病院窓口でいったん立替払いし、後日子ども課で還付の手続きをします。日本共産党の県交渉で、県は石川県にまで窓口無料を広げることが、富山県の全市町村が合意すれば可能であるとしました。

【民生部長】 令和3年度の石川県内での償還払いの件数が664件。石川県内への拡大については、石川県内での現物給付の状況、県をまたいだ国保団体連合会や医師会との調整など多くの課題がある。両県の全域で慎重に進めていく課題であると考えている。

【上田市議】 664件とはたいへん多い、ぜひ便宜を図るように進めてもらいたい。

